

資料編



## 【総合計画について】

この冊子「WITH MATSUYAMA ～ いっしょにつくる理想のまち～」未来へのガイドブックは、「第7次松山市総合計画」をわかりやすく伝えるために作成しました。

### 総合計画とは

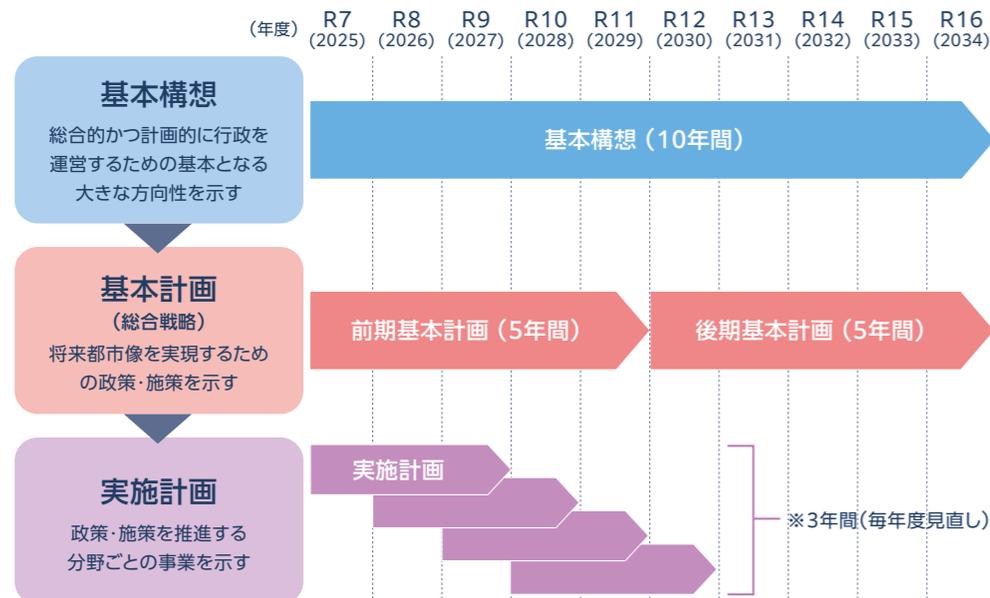
総合計画は、将来どのようなまちにしていきたいのか、どのように実現していくのかをまとめた、松山市の最上位の計画です。

### 総合計画の期間

「第7次松山市総合計画」の期間は、2025(令和7)年度から2034(令和16)年度までの10年間です。

### 総合計画の構成

「第7次松山市総合計画」は、基本構想・基本計画・実施計画の3つの計画で構成されています。



もっと詳しく知りたい方は、ぜひ松山市ホームページの「第7次松山市総合計画」をご覧ください。下の二次元コードからもアクセスできます。



## 【市民参加の状況】

新しい総合計画は、市民のみなさんや松山にゆかりのある人など、10,000人以上からご意見やアイデアをいただき作成しました。

名称	対象者	実施時期	回答件数または参加者数
市民意識調査	市民(18歳以上)	2022(令和4)年11~12月	2,501件
県外在住者意識調査	愛媛県外に住んでいる人	2022(令和4)年9~10月	239件
小・中学生アンケート	小学校6年生 中学校2年生	2023(令和5)年7~8月	2,980件 2,194件
高校生・大学生等アンケート	高校2年生 市内の学校に通う大学生 市内の学校に通う専門学生	2023(令和5)年7~8月	1,036件 423件 1,370件
結婚・出産等の希望に関するアンケート	市民(18~49歳)	2023(令和5)年8月	826件 (男性371件、 女性455件)
まつやま未来ミーティング・タウンミーティング特別版	高校1~3年生 市内の学校に通う大学生 若手社会人	2023(令和5)年8、10月 2023(令和5)年6、7月 2023(令和5)年7、8月	45人 50人 50人
松山愛郷会 youthミーティング	松山愛郷会 youth※ メンバーの大学生や社会人	2023(令和5)年6月 2023(令和5)年7月	12人 19人
分野別ワークショップ	商工業・観光業・農業・環境・防災の5分野の企業・団体に所属する人や関心のある市民	2023(令和5)年10月、11月、12月	90人
出張インタビュー	まつやま市民シンポジウムの来場者	2023(令和5)年11月	62人
有識者、企業・団体ヒアリング	各分野の学識経験者、企業・団体の代表者等	2023(令和5)年9~11月	38人

※松山愛郷会 youth…首都圏に住む松山出身の学生や若手社会人でつくる会

## 【2024年の市民の実感】

「まちづくりの分野別未来像(2034年の未来像)」の実現に向けて、市民のみなさんから見たまちの現在地を知るため、11の分野ごとにアンケート調査をしました。一人ひとりが自分にできることを考えて、みんなで「市民の実感」を高めていきましょう。

分野	まちづくりの分野別未来像 (2034年の未来像)	2024年の市民の実感	みなさんにやってみたいことの例
1	【こども・教育】 こどもを輝く未来へつなぐ	地域でこどもを育てている 子育てしてよかったと思う市民の割合 95.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て仲間をつくったり、子育ての楽しさをみんなに伝えたりする。</li> <li>● 身近にいるこどもをちょっと気にかけてみる。 ● 住んでいる地域の学校の活動に関心を持つ。</li> </ul>
2	【福祉】 人と人の支えあいをつなぐ	つながりと支えあいを大切にしている 地域や社会とのつながりを感じている市民の割合 62.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いくつになっても、気の合う仲間と一緒に好きなことを楽しむ。</li> <li>● 困ったことがあったら、ご近所さんで助け合う。</li> </ul>
3	【健康・医療】 健康をつなぐ	健康でいきいき暮らしている 医療体制が充実していると思う市民の割合 85.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 質のよい食事・睡眠、適度な運動で、自分の体を大事にする。</li> <li>● 感染症に気を付けて、健康で衛生的な暮らしを守る。</li> </ul>
4	【共生社会・コミュニティ】 自分らしさと誇りをつなぐ	大好きな松山で、自分らしくいられる 地域に愛着や誇りを感じている市民の割合 78.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が差別心や偏見を持っていないか、考えてみる。</li> <li>● まちの魅力を見つけて、さまざまな活動に参加する。</li> </ul>
5	【都市の魅力】 ワクワクを全国・世界へつなぐ	松山ファンが増えて、集まってくる 松山市の魅力が友人や知人に紹介したいと思う市民の割合 74.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 松山の新たな魅力を見つけて、市外の人にも紹介する。</li> <li>● 観光や移住で松山に来た人に親切にする。</li> </ul>
6	【経済・産業】 人と仕事と暮らしをつなぐ	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる 現在の職場が働きやすいと思う市民の割合 70.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分も仲間も気持ちよく働ける職場をつくる。</li> <li>● 普段から食べている松山の産品を市外の友達に勧める。</li> </ul>
7	【交通】 まちとまちをつなぐ	自分に合った移動手段で、気軽に出かけられる 気軽に目的地へ移動しやすいと思う市民の割合 68.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● できるだけ公共交通機関や徒歩、自転車で移動する。</li> <li>● まちの魅力を探しに、訪れたことがない場所に行く。</li> </ul>
8	【都市空間】 にぎわいと住みやすいまちをつなぐ	都会と田舎の住みやすさが共存している 松山市は住みやすいと思う市民の割合 92.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 休みの日にはまちなかで買い物やまち歩きを楽しむ。</li> <li>● 水を大切に使う。</li> </ul>
9	【環境】 豊かな自然と暮らしをつなぐ	自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている 環境にやさしい行動をしていると思う市民の割合 76.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみを減らしてまちをきれいにする。</li> <li>● 松山の自然に触れる機会をつくる。</li> </ul>
10	【安全・安心】 安全と安心をつなぐ	災害への備えがあり、安心できる 日頃から災害に備えていると思う市民の割合 54.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の災害リスクを知り、避難所・避難経路を確認して、マイ・タイムライン(家族の防災行動計画)を作成する。</li> <li>● 自分や家族にあわせた非常用持出品・家庭内備蓄品を準備する。 ● 交通マナーを守って交通安全を心がける。</li> </ul>
11	【連携】 つなぐを支える	つながりがまちの活力になっている デジタル化で生活が便利になったと思う市民の割合 65.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市役所の手続きをオンラインでやってみる。</li> <li>● 市のイベントやワークショップで意見やアイデアを出す。</li> </ul>

※数値は、「2024年の市民の実感」に関する質問に「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合です。

## 【松山市の特徴・強み】

「松山市はどんなまち？」と聞かれたら、みなさんは何と答えるでしょうか。  
みなさんに知ってほしい松山市の特徴や強み、その一部をご紹介します。

<p>住みたい田舎 ベストランキング2024</p> <h1>全国1位</h1> <p>人口20万人以上の市 総合部門 宝島社『田舎暮らしの本』(令和6年)</p>	<p>防災士数</p> <h1>全国1位</h1> <p>10,819人(令和7年1月)</p>	<p>紅まどんなの生産量</p> <h1>全国1位</h1> <p>1,166トン(令和5年度) まつやま農林水産物ブランド化推進協議会調べ</p>
<p>市民1人1日当たりのごみ排出量の少なさ 県庁所在地／中核市62市</p> <h1>1位/2位</h1> <p>754.0g/人・日 令和4年度一般廃棄物の排出及び処理状況等(環境省)</p>	<p>通勤・通学にかかる時間の短さ</p> <h1>全国2位</h1> <p>愛媛県56分/東京都92分/大阪府84分 令和3年社会生活基本調査(総務省)</p>	<p>余暇時間の長さ</p> <h1>全国2位</h1> <p>愛媛県6時間49分/東京都6時間34分/ 大阪府6時間44分 令和3年社会生活基本調査(総務省)</p>
<p>空港への良好なアクセス</p> <h1>全国 トップクラス</h1> <p>市街地から空港まで車で約15分</p>	<p>総人口</p> <h1>全国1,698市町村中※ 7位</h1> <p>※特別区(東京23区)、政令指定都市を除く 令和2年国勢調査(総務省)</p>	<p>事業所数</p> <h1>全国1,698市町村中※ 7位</h1> <p>※特別区(東京23区)、政令指定都市を除く 令和3年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)</p>
<p>美しいまちなみ アジア 都市景観賞</p> <p>道後温泉周辺地区(平成28年) 松山城周辺地区(平成30年)</p>	<p>アニメ聖地88 に選定</p> <p>作品名『がんばっていきまっしょい』 (一社)アニメツーリズム協会 『訪れてみたい日本のアニメ聖地88』 (2025年版)</p>	<p>みんなを笑顔に “観光未来都市まつやま” ～瀬戸内の島・里・山をつなぐまち～ SDGs未来都市</p> <p>内閣府(令和2年度)選定</p>

## 【SDGsの概要】

### SDGsとは

2015(平成27)年に開催された国連サミットで、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。その中に掲げられた、「持続可能な開発目標」のことを、SDGs(Sustainable Development Goals)と言います。SDGsは2030(令和12)年を目標年に、17の目標で構成されています。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す、世界共通の目標です。

### 松山市とSDGs

松山市は2020(令和2)年に国から「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されており、本計画の推進を通じてSDGsの実現に取り組みます。

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p> <p><b>目標1 貧困をなくそう</b></p> <p>あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p> <p><b>目標2 飢餓をゼロに</b></p> <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> <p><b>目標3 すべての人に健康と福祉を</b></p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>
<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> <p><b>目標4 質の高い教育をみんなに</b></p> <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p> <p><b>目標5 ジェンダー平等を実現しよう</b></p> <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワメントを行う</p>	<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p> <p><b>目標6 安全な水とトイレを世界中に</b></p> <p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> <p><b>目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b></p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> <p><b>目標8 働きがいも経済成長も</b></p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p><b>目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b></p> <p>強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>
<p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p> <p><b>目標10 人や国の不平等をなくそう</b></p> <p>国内及び各国家間の不平等を是正する</p>	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> <p><b>目標11 住み続けられるまちづくりを</b></p> <p>包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p> <p><b>目標12 つくる責任 つかう責任</b></p> <p>持続可能な消費生産形態を確保する</p>
<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p> <p><b>目標13 気候変動に具体的な対策を</b></p> <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p> <p><b>目標14 海の豊かさを守ろう</b></p> <p>持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>	<p><b>15</b> 陸の豊かさを守ろう</p> <p><b>目標15 陸の豊かさを守ろう</b></p> <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>
<p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p> <p><b>目標16 平和と公正をすべての人に</b></p> <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>	<p><b>17</b> パートナリーシップで目標を達成しよう</p> <p><b>目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう</b></p> <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	

(出典) 外務省

## 第7次松山市総合計画

発行 松山市

編集 松山市 総合政策部 企画戦略課

〒790-8571

愛媛県松山市二番町四丁目7番地2

電話：089-948-6213 FAX：089-934-1804

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

発行日 令和7年3月



この冊子の印刷における電力の100%  
が、松山市の太陽光発電施設で発電した  
グリーン電力で賄われています。  
使用許諾番号No.00179